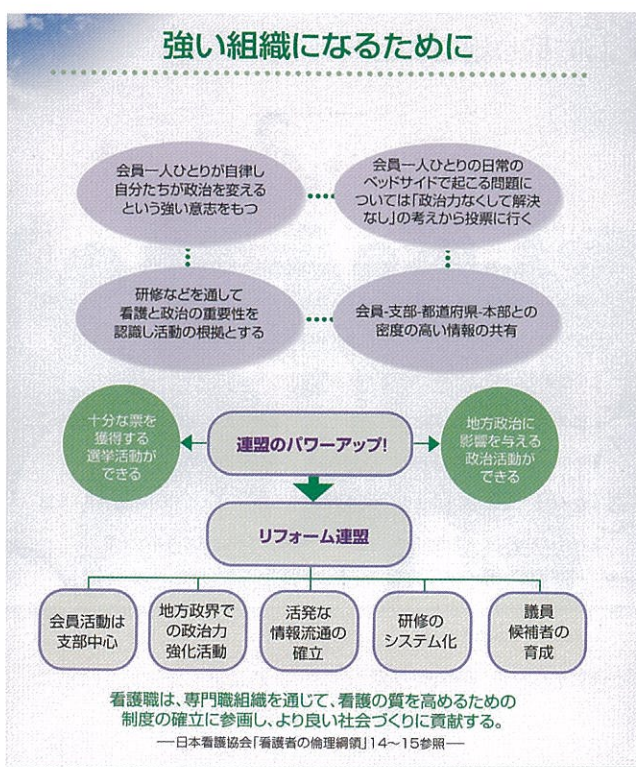


# リ・フォーム連盟

平成17年6月の通常総会でリ・フォーム連盟「ベッドサイドから政治を変える！」が可決され、会員一人ひとりの自律性に基づくネットワーク型の組織を創る改革で自主的に活動できる会員が一人でも多く増えることを目指した。

宮城県では「リ・セット連盟宮城」とし、宮城県支部長から宮城県看護連盟会長に改称され、新しく6つの支部が誕生した。





# 宮城県看護連盟と各支部新設まで

宮城県看護連盟 幹事長 高橋秀子

今年度のはじめに山下会長と本部の合同会議に臨んだときに「県別に支部を作る」という方針が示されました。会長は前年度の9月にはその方向付けを出されたはずですが自分の中で反芻していたのだと判りました。私は、正直言って「エ〜ッ 宮城でそんなことが出来るのかしら」と思ってしまいました。

隣の席の山下支部長の心中を考えるとおんぶに抱っこでここまで来たに自分にはそんなことは口に出しては言えませんでした…

此処にきて初めて、私は、宮城には基本となる組織というものがないから常々会長が「その原型をつくるのが大事」「そのために協会と連盟が一体になることが他県より強く求められている」「事務局は各施設が責任を以て会員を募り必要な役割を分担してくださることで成り立つのです」と繰り返し言われていたのだと、はっきりわかりました。

出来れば避けたかった幹事長の役ですが…けど宮城のために全てをなげうって全国レベルをめざす山下会長の熱意に脱帽でした。

長いこと、政治活動は悪いこと、偏っていること、私たちには関係ないことという思い込みの中にあった宮城で

すが…まだまだですが支部創設に向かって舵を取る会長がそこに居ます。

どんなマジックを遣ったのか私達、現役の管理者たち、看護職各自が学ぶ政治団体以外の学びも多いことが宮城県看護連盟の特徴ではないかと思えます。とにかく

私たちが山下会長から学んで次世代へつないでいくのだ自覚を新たにし宮城を盛り立てていこうと決心しています。

そうして誕生したのが次の六支部です…報告と紹介にかえさせていただきこれからの支部ごとの躍進を期待します。私達宮城県役員をよろしくお引き回し下さい。お断り!去る6月25日の支部総会決定された六支部は諸事情により一部を(本部の指導により役員会決定)保留とし変更支部名でつぎのとおりご紹介しますのでご了承願います。



## 宮城県看護連盟

# よろしく! 各支部長



仙台北支部長 寺島美紀子



仙台オープン病院支部長 平間あき子



仙台東南支部長 大場美代子



仙台厚生病院支部長 佐藤愛子



仙南支部長 三浦国子



宮城北東支部長 金愛子



認定証書

# 勢ぞろい!













元役員 高橋 仁子  
(平成17年～平成22年)

宮城県看護連盟創立50周年、おめでとうございます。

歴代の諸先輩方々の連盟活動の功績のおかげで、今日の私たちがあることを、改めて痛感致しました。そして、連盟活動50年の歴史の一コマに参加させて頂いたこと大変嬉しく思います。

私は6年間県役員をさせて頂きました。2回の選挙を経験し、一昨年は高階恵美子さんを見事に私達の代表として国政に送り出すことができました。高階恵美子さんは地元出身であり、選挙活動中は県連盟会長の下、各支部役員と共に時間を作りながら、活動に参加しました。当選した時は嬉しさと安堵感が湧いてきたことを覚えています。

また、この選挙活動を通して役員の方々の団結力の強さを感じることができました。

「私達の代表を国政に」との思いが一つになった瞬間でした。

県役員として、連盟活動を通して他の施設の方々と交流を持つ機会に恵まれ多くの事を学びました。同じ立場の方々から励まし・応援をたくさん頂きました。本当に楽しかった6年間でした。

これからは、連盟活動で経験したことを自施設で若いスタッフへ啓蒙していきたいと思えます。

そして、宮城県看護連盟におきましては連盟活動がますます発展していくことを祈念いたします。

(仙台オープン病院)





第9代会長 阿部 歌子  
(平成18年～平成20年)



宮城県看護連盟 会長 阿部 歌子

梅雨の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりご多用の日々にもかかわらず看護連盟活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

平成19年7月は、リフォーム連盟の成果が問われる決戦の時を迎えています。

宮城県看護連盟は11支部活動として、看護政策推進活動の理解者を中心に拡大してきました。看護職の組織代表として松原まなみさんを国政に送るため、奮闘しています。

現在、国政の場で参議院議員の清水嘉与子先生・南野千恵子先生・衆議院議員の阿部俊子先生の3人が看護政策課題に取り組み、ご活躍されています。今年、清水嘉与子先生が引退されます。看護の代表を3人から2人に減らすわけにはいきません。後継者として、松原まなみさんを国政の場に必ず送り出しましょう。看護職者の確保・定着や看護教育制度改革など、今日の懸案事項はいずれも、制度の改革なくしては達成されません。そのためには、何としてでも、清水嘉与子先生の後継者として、松原まなみさんを国政の場に必ず送り出すために、会員一人ひとりが2人の理解者とともに、必ず投票行動をしていただくことがとても重要になります。

この1年間は、「松原まなみ研修や施設訪問」を積極的に行い、アンフィニA会員の獲得状況については毎月、支部別に確認をしてきました。5月12日看護の日に開催された看護政策推進大会では多くの国会議員・県会議員・市会議員の先生方に心強い支援をいただきました。また、宮城県看護協会の皆様にも力強いエールを頂きました。関係団体・知人・友人・親戚・市民の皆様の一々でも多くの方に、ぜひご理解とご支援をいただけるよう連盟会員一同必死で終盤を頑張っていきます。どうぞよろしく願いいたします。

松原まなみさんに頑張ってくださいに、  
私たちはガンバロウ！ガンバロウ！がんばろう！

(RENMEIみやぎ 第45号より)





元役員 高橋 清子  
(平成18年～平成21年 幹事長)

縁とは不思議なもので、自分の人生において宮城県看護連盟の幹事長として仕事をすると夢にも思っておりませんでした。看護連盟は個人では決して成しえない看護職の社会的地位向上のために政治活動をしている価値ある団体です。

しかし、看護協会のように脚光を浴びることもなく人一倍苦勞しながら地道に活動している団体と感じておりました。だが、その意義は大きく長年会員として賛同してきました。そのような立場でありましたので戸惑いもありましたが、阿部歌子会長初め役員の方々や熱意ある各支部長の大きな団結力の元で、会議や諸行事はスムーズに進み、その一致した協力のあり方は頼もしく、不安もなく仕事をさせていただきました。

仕事は看護連盟本部総会の意向を受け一年の計画を基に活動していきますが、政治団体として登録している組織でもあることから、宮城県内自民党関連の国会議員、県議・市議会議員との関係も同時に進行し活動するという特殊性があります。この相互の関連なくて看護連盟は孤立してしまうほど大切に重要な関係です。

法律の制定なくして身分の保証はありません。これまで成立した看護職に関する法制度は、看護連盟が中心となって国会に送り出した看護職の代表の方々の成果です。看護職全員がその恩恵を受けていることを忘れてはいけないうし、このことを認識する必要があります。

全看護職の方々のご理解を切に願うものです。

お蔭様で助産師という限られた世界にいた身にとって、今まで経験できなかった多岐、多彩な仕事とそこから派生する出会いの人脈は、私の人生を広く心豊かにし充実感のある思い出とさせていただくことができました。心より感謝申し上げます。そして看護連盟の益々の発展とご活躍をお祈り申し上げます。





宮城北東支部長 只野 良子  
(平成18年～現在)



創立50周年おめでとうございます。

初めて連盟会員となり新人の研修会に参加し、グループワークの時に周囲の皆さんが、すごく生き生きして自分の意見を堂々とお話していることに感心しました。何も言えなかった自分が、すごく視野が狭く話しに付いていけなかったことがショックだったと、昨日のことのよう思い出されます。

2006年から、宮城県看護連盟北東支部の支部長という、責任重大な役目を頂き現在も活動中です。地域支部は範囲が広く中々会員の皆様と交流することが難しく、会員の獲得もままなりません。しかし、第22回参議院選挙の時にはみなさんにご協力いただき素晴らしい結果を残すことができ感無量でした。特に地元古川で8月16日(日)に開催した講演会に多数のかたが参加してところを1つにできたことがとても印象深く忘れることができません。以後は自分達のできることは何でもやってみようとして色々な事にチャレンジしました。選車に乗ったり、街頭演説時にビラを配ったり、うぐいす嬢をやったり、充実した時間を過ごし、看護職の仲間だけに留まらず地域の皆さんと縦横無尽に手を取り合うことの大切さも学ぶことができました。今後の活動に役立つものと確信しております。

創立50周年を迎え様々な困難をものともせず乗り越えて来た諸先輩方の努力に脱帽です。これから私達もがんばって連盟活動をして行きたいと思います。  
(永仁会病院)

